



清明小学校 学校だより

みどりの風

清く明るく豊かな心をもち進んで学ぶ子

2 月 号

令和 7 年 2 月 3 日

清瀬市立清明小学校

校長 渋谷 正芳

令和6年 学校評価アンケート結果報告について

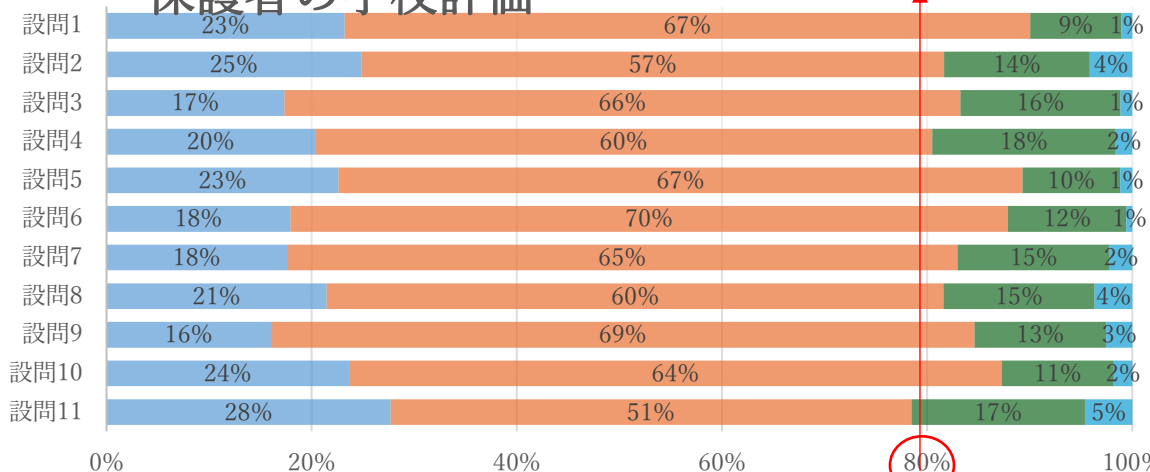
～今日より、新たな気持ちで取り組みます。～

保護者の皆様には、御多用の中、アンケートへの御協力ありがとうございました。A よくあてはまる・B ややあてはまる・C あまりあてはまらない・D あてはまらないの4段階に回答した総数に対して、A・B 2段階合計数の割合は、全項目で80%以上となりました。(A+B)/(A+B+C+D) しかし、昨年度と比較して、C・Dに回答が全体的に微増し、中には、5ポイント以上増えた項目★が7つもあります。「学習時のルールや分かりやすい授業の実践へのさらなる改善が必要であること。」また、「児童が安心して学校生活が送れるよう安全な環境づくり、寄り添った指導に努めていかねばならないこと。」などが明らかになりました。アンケートの結果を真摯に受け止め、「皆が笑顔になれる わが学校」の具現化に向け、今日より、新たな気持ちで取り組んでまいります。引き続き、御協力よろしく願いいたします。アンケートの集計結果は以下のとおりです。

保護者による評価結果(経年比較)						回収率 R6: 47% R5: 45%	
(1) 評価項目について							
		よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	
★①学校は、子供たちに理解しやすい工夫した授業を行っている。	R6	22%	62%	8%	1%	7%	
	R5	30%	63%	2%	1%	4%	
	R4	28%	58%	3%	2%	9%	
★②学校は、PCをはじめとしたICT機器や話し合い活動などを活用した授業を行っている(ミライシード・学級会)(R5新規)	R6	22%	49%	12%	4%	13%	
	R5	29%	42%	13%	2%	15%	
	R4						
★③学校は、「返事」「挨拶」「後始末」の指導を徹底している。(R5新規)	R6	15%	59%	14%	1%	11%	
	R5	22%	58%	9%	0%	11%	
	R4						
★④学校は、いじめを認知した時に、いじめに対して迅速かつ組織的に取り組んでいる。	R6	13%	38%	11%	1%	37%	
	R5	15%	42%	6%	0%	38%	
	R4	22%	41%	2%	2%	33%	
⑤学校は、子供たちに食べ物の大切さや栄養の事、健康の事を話し、よりよい食習慣・生活習慣が身に付くようにしている。	R6	20%	58%	8%	1%	13%	
	R5	20%	62%	6%	0%	12%	
	R4	18%	57%	5%	0%	20%	
⑥学校は、子供たちが楽しく運動できるように体力の向上に積極的に取り組んでいる。	R6	16%	62%	10%	1%	11%	
	R5	20%	54%	12%	3%	10%	
	R4	23%	59%	6%	0%	12%	
★⑦学校は、子供たちが学習に集中し、気持ちよく学校生活を送ることができるよう教室や廊下をすっきりした環境にしている。	R6	16%	61%	14%	2%	6%	
	R5	21%	69%	6%	2%	2%	
	R4	24%	58%	5%	1%	12%	
★⑧学校は、児童の様子やアンケート・面談を通して実態を把握し、分かりやすい授業を心がけ、児童の苦手意識や困り感が改善できようしている。	R6	18%	51%	12%	3%	16%	
	R5	22%	58%	6%	1%	13%	
	R4	20%	46%	13%	2%	19%	
★⑨学校は、児童が課題を調べ、解決する問題解決的な学習を取り入れている。	R6	13%	55%	10%	2%	20%	
	R5	22%	57%	5%	2%	15%	
	R4	18%	51%	12%	1%	18%	
★⑩学校は、保護者や地域の方と協力して、外部人材・教材を活用して教育活動に取り組んでいる。	R6	20%	54%	9%	2%	15%	
	R5	27%	65%	3%	1%	4%	
	R4	32%	45%	4%	1%	18%	
⑪清明未来塾は、子供の学習のためになっている。(今年度清明未来塾利用者 R6新規)	R6	22%	40%	13%	4%	22%	
	R5						
	R4						

児童による評価結果(経年比較)					
評価項目					
		よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①先生の授業は、めあてがはっきりとしていて、「できた」「分かった」と感じることができる。	R6	61%	31%	6%	2%
	R5	67%	3%	3%	2%
	R4	66%	26%	6%	2%
②先生の授業で、PC等を使った学習や友達と話し合う活動ができるのは楽しい。	R6	75%	20%	4%	1%
	R5	79%	17%	3%	1%
	R4				
③「返事」「挨拶」「後始末」をしっかりとっている。	R6	51%	40%	8%	2%
	R5	60%	30%	6%	4%
	R4				
④先生は、困ったことや嫌なことが起こったときにしっかりと話を聞いて対応してくれる。	R6	72%	25%	2%	0%
	R5	75%	21%	2%	2%
	R4	71%	25%	3%	1%
⑤先生や栄養士さんは、食べ物のお大切さや栄養のことを話してくれる。	R6	74%	23%	2%	1%
	R5	77%	20%	2%	1%
	R4	55%	32%	9%	4%
⑥体育の学習は楽しくて体力が上がったと感じる。	R6	70%	21%	5%	4%
	R5	69%	21%	6%	4%
	R4	65%	26%	5%	4%
⑦教室の床や壁がきれいですすっきりした状態になっている。	R6	32%	34%	24%	11%
	R5	41%	35%	18%	6%
	R4	47%	40%	10%	3%
⑧先生は、生活や学習で自分が苦手なところができるように手助けしてくれる。	R6	65%	28%	5%	2%
	R5	66%	27%	5%	2%
	R4	65%	26%	5%	4%
⑨生活科や総合的な学習の時間で、調べたいものを決め、調べて考えてまとめる学習をしている。	R6	73%	23%	4%	0%
	R5	75%	22%	2%	1%
	R4	71%	25%	9%	2%
⑩生活科や総合的な学習の時間や社会や理科の学習で地域の方やゲストティーチャーの方と学習する内容は楽しい。	R6	56%	35%	6%	3%
	R5	64%	27%	6%	3%
	R4	63%	26%	7%	4%

保護者の学校評価



左から A よくあてはまる・B やあてはまる・C あまりあてはまらない・D あてはまらないの4段階に回答した総数に対して、A・B 2段階合計数の割合

$$\frac{(A + B)}{(A + B + C + D)}$$

設問1 学校は、子供たちに理解しやすい工夫をした授業を行っている。

児童 92%、保護者 84% が肯定的な意見でした。昨年度に比べ、児童は、ほぼ変わりませんが、保護者は、9ポイント肯定的な意見が減少しました。授業の始めにめあてを明確にし、自分で考える時間を確保しながら話し合う意見交換の場を設定してきました。今後、児童が主体的に学ぶ態度を高めるために、ヒントカードや伝え合う場を充実させて学習内容が理解しやすくなるようにしていきます。

設問2 学校は、パソコンをはじめとした ICT 機器や話し合い活動などを活用した授業を行っている。(ミライシード・学級会など)

児童は 95%、保護者 69% と両者に差が見られました。今年度も ICT 研修を行い、学級によって活用頻度は異なりますが全ての学級で、ICT を活用した授業を実施しました。今後も研修を計画的に行い、様々な教科で ICT 機器を活用した話し合い活動をさらに充実させ、児童の主体性を伸ばす授業を行っています。

設問3 学校は、「返事」「挨拶」「後始末」の指導を徹底している。

保護者 73%、児童 91% が肯定的な意見です。教員から挨拶をした場合はできる児童が多くいます。挨拶運動は、今年度は、代表委員会だけでなく挨拶運動期間に学年を割り当て、学校全体で挨拶運動に取り組んできました。挨拶、返事、後始末についても個人差が大きいのが現状です。大人が率先垂範していきながら、児童会と「挨拶」について考えながら全体指導や個別指導に取り組んでいきます。

設問4 学校は、いじめを認知した時に、いじめに対して迅速に組織的に取り組んでいる。

保護者 49%、児童は 98% が肯定的な意見で児童と意見と大きく差がありました。「わからない」が今年度は 37% と他の項目と比べ最も多く、きっと「お子さんが安心して学校に登校できていない」ことがあるのかと推測いたします。ふれあいアンケートや日常の出来事からいじめに対してアンテナを高くし対応してきましたが、いじめ案件が 3 件発生しました。今後も、気になることがあればすぐに共有し、いじめの未然防止、未解決ゼロに向けて、組織的に取り組んでいきます。

設問5 学校は、子供たちに食べ物のおお切さや栄養や健康のことを話し、よりよい食習慣・生活習慣が身に付くようにしている。(栄養教諭からの給食通信・教室への訪問講話)

今年度保護者の 78% が肯定的な意見でした。昨年度より 6 ポイント減少しています。今年度、全学年で栄養教諭による食育に関する授業を実施しました。今後も毎日各学級を回り、栄養や食事のマナーについての指導や養護教諭による生活習慣についての保健指導を継続するとともに指導内容の共有を図っていきます。

設問6 学校は、子供たちが楽しく運動できるように体力の向上に積極的に取り組んでいる。

保護者の肯定的な意見は 78% で、昨年度とほぼ変わりません。今年度も、運動量の確保を意識した体育の授業や、縄跳びや持久走、運動の日常化を目指した縄跳び練習場の設置等に全校で取り組みました。今後は、休み時間に体育館を開放するなどを検討し、体力向上に積極的に取り組みます。

設問7 学校は、子供たちが学習に集中し、気持ちよく学校生活を送ることができるよう、教室や廊下をすっきりした環境にしている。

保護者 77%、児童は 66% が肯定的な意見でした。昨年度と比べ、保護者は 13 ポイント、児童は 5 ポイント減少しています。教室や廊下等にごみが落ちていること、他のごみが落ちていても拾わないこと等が挙げられます。ごみ拾いの時間の設定や散らかさない仕組みなど美しい行動への意識の向上の取組が必要です。学習に集中できるよう教室の前の黒板横には、掲示をしないなども、徹底していきます。

設問8 学校は、児童の様子やアンケート・面談を通して実態を把握し、分かりやすい授業を心がけ、児童の苦手意識や困り感が改善できるようにしている。

保護者の69%、児童は93%が肯定的な意見でした。保護者と児童の差が大きいのは、アンケートや個人面談等の実施について、保護者に伝わっていないことが考えられます。今後も実態把握に努め、保護者とも情報共有しながら特別支援コーディネーター、スクールカウンセラー等と連携を取り、児童の苦手意識や困り感を改善していきます。

設問9 学校は、児童が課題を調べ、解決する問題解決的な学習を取り入れている。

保護者は、68%、児童は96%が肯定的な意見で大きく差がありました。こちら、学習の様子が保護者に伝わっていないことによる意見の乖離と考えられます。今年度も、「環境教育」「伝統文化教育」を核に総合的な学習の時間や生活科、社会科の時間を中心に地域の方々の協力の下、体験的な学び、課題を自ら見付け探求学習を行いました。また、調べ学習の際に図書館を利用している児童が少ないこと、体験したことを分析、考察することについてはまだ課題が多いのが現状です。今後は、地域図書館での団体貸し出しを積極的に活用します。また、基礎的・基本的な学力を向上させる中で、分析・考察する力も向上させ、児童自らが問題解決する力が養われるような学習をしていきます。

設問10 学校は、保護者や地域の方と協力して、外部の人材・教材を活用して教育活動に取り組んでいる。

今年度74%が肯定的な意見で、昨年度に比べ18ポイント減少しています。学校だより等でのお知らせが十分でなかったことが考えられます。今年度も、学校支援地域本部を中心に、柳瀬川の体験学習や、家庭科支援、未来塾の見守りや丸付け等、様々な活動に地域の方に御協力いただきました。特に新設された特別支援学級と地域との交流が積極的に実施され、さらに地域との結びつきが強くなりました。今後も、保護者、地域の方との共育をさらに進めていきます。

令和6年度 学校評価(保護者) 自由記述コメントについて

自由記述コメントも御記入いただきありがとうございます。できる範囲でお答えさせていただきます。

同様の意見はまとめ、個人的な対応の必要な御意見や前述の学校評価内容と重なるものは、割愛させていただきましたので御了承ください。

○11月からペーパーレス化になり、学校だよりなどがHome & Schoolで配信されているので、見やすく、外出先からも確認できるのでとてもいいです。

○今年から始まった縦割り班活動では、他学年と関わることで、人との接し方や思いやる気持ちなど様々なことを学んでいるようで、続けてほしいです。

○いつもご尽力いただきありがとうございます。

○子供の登校がスムーズにいかなくなった時、話を聞いたり、柔軟に対応したり、アイデアを出したりしていただき本当に助かりました。

○仕事の予定を組みたいので、学校だよりに次の月の簡単な学校行事の日程を載せていただきたい。

→学校だより、その月と翌月分のも大きな行事に関して載せるようにします。

○年1回の個人面談では、担任の先生と話す機会が少なくわが子の学校の様子が分からない。

→今年度は、7月末に個人面談週間、11月に教育相談週間と2回、面談の機会を設けています。ただ、秋の教育相談の面談につきましては、希望者が非常に少ないのが現状です。お忙しい時期かとは思いますが、ぜひ11月の個人面談もご活用ください。その他にも、何もトラブルがないときであっても、お子様の様子が聞きたいということであれば、遠慮なく担任等にお電話や連絡帳等でお知らせください。

○未来塾に参加しているが、分からないことがあっても質問を受け付けてもらえなくなったと聞いたが本当か？

→未来塾は、地域のボランティアの方の支援の下、宿題に取り組む環境を作り、学習習慣を身に付けさせることや東京ベーシックドリル等を活用して基礎基本を定着させることをねらいとしています。宿題を終えたら、ボランティアの方にベーシックドリル等の丸付けやボランティアの方が分かる範囲でこれまで通り質問を受けることができます。

○今年の運動会の受付は○印を付けるだけになっていてよかった。

○授業中、立ち歩いたり、教室から出たりする子がいたら叱るべき。

→確かに、気になる状況はあり指導もしていますが改善できない場面があります。今後も、個別指導や授業改善を行ってまいります。集団の中での学習への適応が難しい児童もいます。その際はコーディネーターやスクールカウンセラー等と連携しながら、対応しています。